

 災害が発生して避難が必要なときに使うものなんだけど、事前に避難のための準備にも使うことができるんだ。

 **避難のための事前の準備ってどんなことをするの？**

 例えば、支援が必要な人がどこに住んでいて、どんな状況かが分かるから、事前に場所を確認して地図に示しておいたり、支援が必要な人の状況に応じて、避難の方法や経路をあらかじめ確認したりすることができるよ。

 **どこに、どうやって避難するのか前もってわかっていると、心強いわね！**

 そうなんだ。阪神淡路大震災では、隣近所の人たちによる支援が行われ、多くの人の命が救われているんだ。だから、避難の支援が必要な人を名簿にして、事前に準備を行い、実際に災害が発生した時にスムーズに支援が行えるようにしたんだよ。

 **支援を必要とする人を地域で守っていることのことなのね。**

 うん。でもあまり難しく考えないでほしいんだ。災害の状況によっては、支援する側も被災者になることもあるので、無理のない範囲でできる限りの支援を考えればいいんだよ。もし、自分自身に危険が迫っていたら、まずは身の安全を確保することが大事だよ。



津市総合防災訓練の様子

 **良く分かったわ。この名簿を使って具体的な取り組みを始めているところはあるの？**

 地域の皆さんが話し合って避難計画を立てたり、実際に訓練を行って、支援の方法や手順を確かめたりしているところもあるよ。

 **そしておけばいざというときに慌てなくてすむわね！**

 実際に危険が迫っているときは、避難の手助



けが必要な人の自宅を訪ねて、一緒に避難することになるから、支援する人と支援が必要な人が普段から顔の見える関係を築いておくとスムーズな避難につなげることができるんだ。

 **出来上がった名簿をもとに、地域の中で支援の輪が広がりつつあるのね。**

 災害が起こった時に、まずは自分たちで何ができるのかを考えて備えておくことで、地域の助け合いの力が高まっていくといいね。

